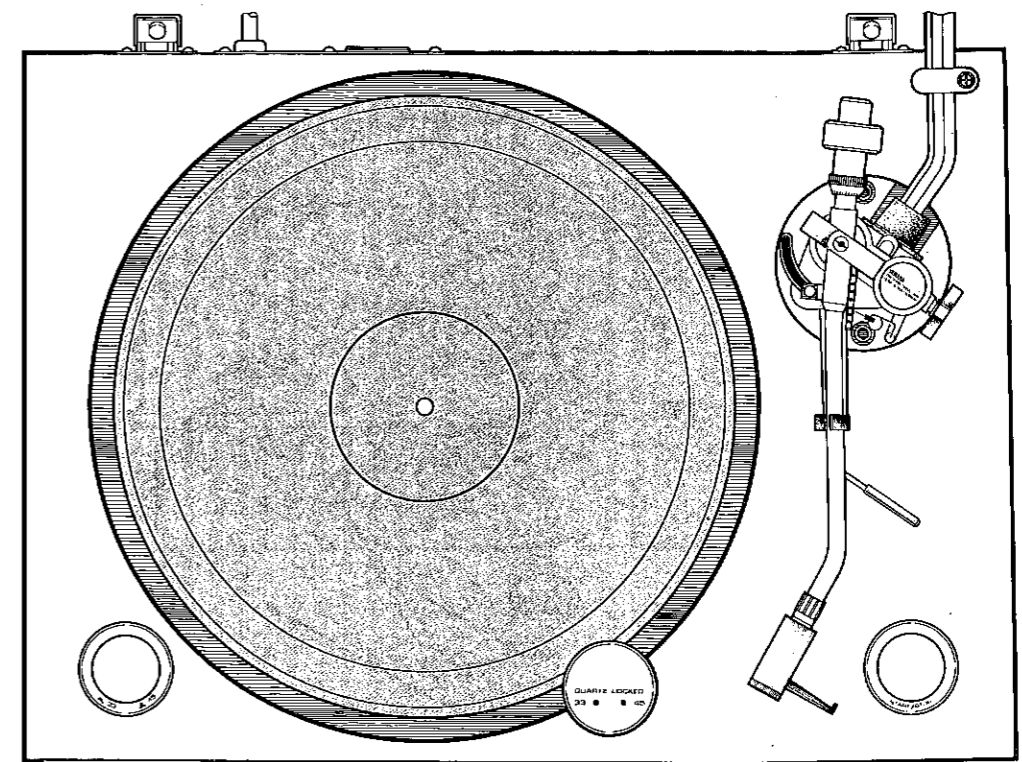


YAMAHA

**YAMAHA
GIGANTIC
AND
TREMENDOUS
PLAYER**

**GT-2000L
GT-2000**

取扱説明書



図はGT-2000です。

ご使用前に必ずお読みください。

かたびは、ヤマハステレオレコードプレーヤーGT-2000L・GT-2000をお買
求めいただきまして、まことにありがとうございます。

GT-2000L・GT-2000の優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なく
お使いいただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださ
いませうお願いいたします。

■目次

特長	1
各部品の確認	2
組み立て図	3
ご使用になる前に次のことにご注意ください	4
各部の名称と機能	5
水平バランス調整/カートリッジ/ヘッドシェルの取り付け	6
トーンアームの調整	7/8
アンプへの接続	9
レコード演奏のしかた	9
参考仕様	10
ブロックダイアグラム	10
故障と思われるときには	11
オプション	11
サービスのご依頼について	12

■特長

〈基本性能追求、設計高感度トーンアーム〉

水平垂直共7mgの初動感度を持つ仮相一点支持ジンバルサ
ポート。水平トラッキングエラーを小さくおさえた実効長
262mm S字形ロングアーム。あらゆるカートリッジに対応で
きる容易で確実な高さ調整機構。堅固で十分な重量のアー
ムベースなどオーソドックスでありながら基本性能を追求
した設計です。

〈超重量級ターンテーブル〉

直径374mm、重量5.5kg、慣性質量1.2トン cm^2 の超重量級ター
ンテーブルは、熱間鍛造法による高純度で高精度な造りで
す。このターンテーブルを起動トルク2kg \cdot cmという強力な
DCコアレスホールモーターが高精度(20ppm)なクォーツ
PLL制御によってダイレクトドライブしています。
静かで正確無比な回転によりワウ・フラッター0.005%、SN
比85dBを実現しています。

〈重量級キャビネット〉

内部損失の大きな5層高密度パーティクルボードを使用した
14.5kgの重量級キャビネットです。強力なインシュレーター
の採用と相まってあらゆる振動をシャットアウト。シンプ
ルで端正なフォルムは、ヤマハならではの木工技術による
美しい仕上げです。

〈純アルミニウム削り出しヘッドシェル〉

純アルミニウムブロックより削り出して作られるヘッドシ
ェルは、剛性が高くカートリッジをしっかりとホールドし、
共振による再生音へのよけいな色付けを排除します。

〈ローインピーダンスPUコード〉

PUコードには、バランスインピーダンス(105pF 60m Ω)
ルーズヘリカルシールドを採用。また、コネクタピン
など重要な接触部には金メッキをほどこし、情報の伝達ロ
スを最小限におさえています。

〈オートリフター機構〉

GT2000Lには、非接触光学式オートリフターが装備されて
います。

ご使用になる前に次のことにご注意ください



設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、音質が悪化
したり故障などの原因となります。ご注意ください。
●窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそ
ばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)では
キャビネットの変質変形等の原因になります。
●温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)での
ご使用はオイルなどの凝固により回転ムラ等の原
因になりますので避けてください。
●湿気の多い場所(湿度90%以上)では金属部分に
サビが生じたり故障の原因になることがあります。
●ホコリの多い場所ではレコードや針先等がよごれ
たり、雑音の発生等の原因になります。
●結露が発生した場合、一時的に正常動作をしない
ことがあります。



セットのお手入れには

キャビネットをベンジン、シンナー系の液体で拭い
たり、化学ぞうきんを使ったり、すぐそばでエアゾ
ルタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。
ベンジンやシンナー類がつくと、キャビネットが汚
れたり変色したりします。
また本機にレコードスプレーを吹きかけることのな
いよう充分ご注意ください。お手入れは、必ず柔ら
かい布でからぶきしてください。



電源電圧はAC100V

定格電圧100Vでご使用ください。また、電源コード
は大切にお使いください。特に、コンセントからは
ずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。
※本機は国内電源AC100V \pm 10V、50/60Hzでお使い
ください。この電圧以外でのご使用は保証できか
ねます。



取り扱いはいねいに

物をぶつけたり、落したりの乱暴な取扱いは製品
に悪い影響を与え、性能を劣化させます。ていねい
にお取り扱いください。



古いレコード針は使わない

針先の寿命は使用するレコードの状態によって異な
りますが、ダイヤ針で200~300時間使用したら交換
してください。針先が摩耗すると音が歪んだり、ピ
リついたりして、レコードを痛める原因になります。



アンプから離して

接続するオーディオアンプと並べて設置する場合
には、ハム音の発生等の原因になりますのでアンプの
電源トランス側と本機のトーンアーム部をできるだ
け離して設置してください。又出力コードも他の電
源から遠ざけるようにしてください。



組み立てるときには

組み立て時にはこの取扱説明書をよく読んで、行な
ってください。また、電源プラグがコンセントから
抜けた状態を確認してから行ってください。



振動のない静かな所を

ハウリングや針とびの原因になりますので振動の多
い場所やスピーカーシステムの近くには置かないで
ください。台もしっかりしたものを選んでください。



水平に保つこと

プレーヤーの水平が保たれていませんと、回転速度
やトーンアームの動きに悪影響を与えます。必ず水
平に設置してご使用ください。



落雷に対する注意

落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントから
電源のプラグを抜きとってください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書
の手続きを行なってください。保証書に販売店名、
購入日などがないと、保証期間中でも万一サー
ビスの必要がある場合に実費をいただくことになり
ますので、充分ご注意ください。ようお願いいた
します。



もう一度調べてください

故障かなと思ったら、まずP.11の「故障と思われる
ときには」をご覧ください。意外なところで操作を
誤っていることがあります。



保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とと
もに保管してください。

これは電子機械工業会「音のエチケット」
キャンペーンのシンボルマークです。

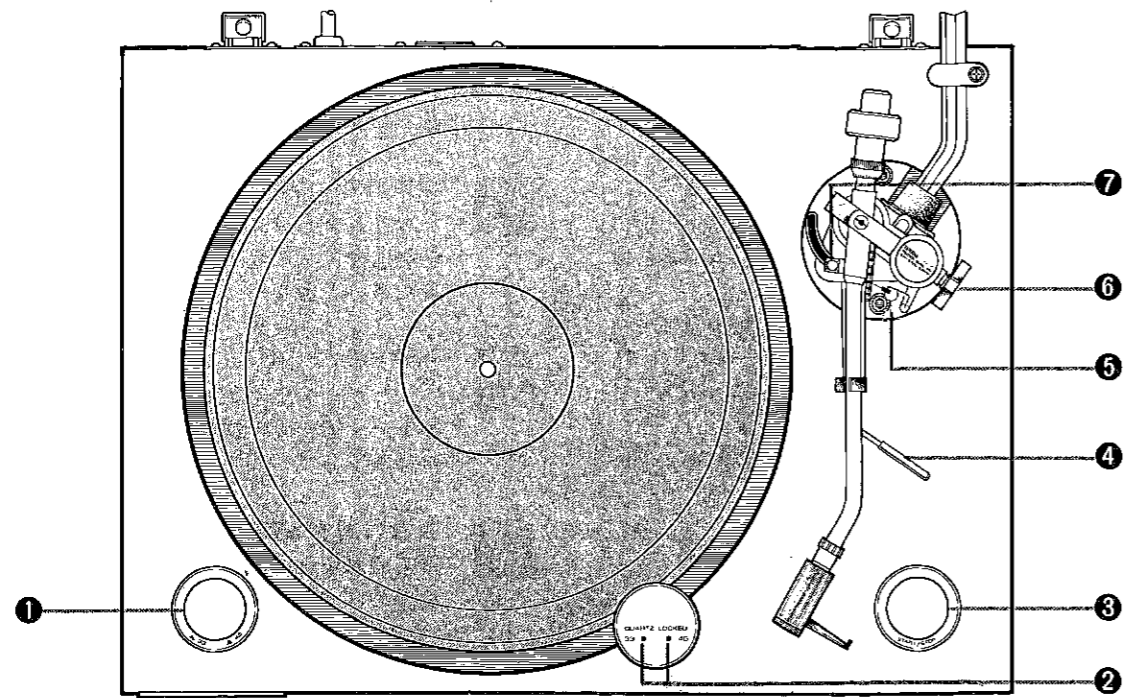
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるもの
です。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな
夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁
などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけて
しまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音
楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な
生活環境を守りましょう。

各部の名称と機能

水平バランス調整/カートリッジ/ヘッドシエルの取り付け

図はGT-2000です。



① 回転数切り換えスイッチ

回転数の切り換えスイッチです。

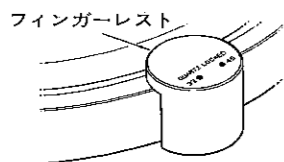
- 回転数33 $\frac{1}{3}$ r.p.m.のレコードを演奏するときは **■ 33**にします。
- 回転数45r.p.m.のレコードを演奏するときは **■ 45**にします。

② クォーツロックインジケータ

回転数がクォーツ制御によって正確にロックしたとき点灯します。(それまでは点滅しています。)

※レコードの取りはずしのときフィンガーレストにレコードをひっかけないように注意してください。

※アームリフターを使わないで針をレコード面にもっていくときは、フィンガーレストを台にして針を降してください。



③ スタート/ストップスイッチ

フォノモーターのスタートとストップのスイッチです。

④ キューイングレバー

トーンアームを滑らかに上げ下げするレバーです。レバーを右へたおすと、トーンアームは滑らかに降下し、レバーを立てると、トーンアームは上昇します。

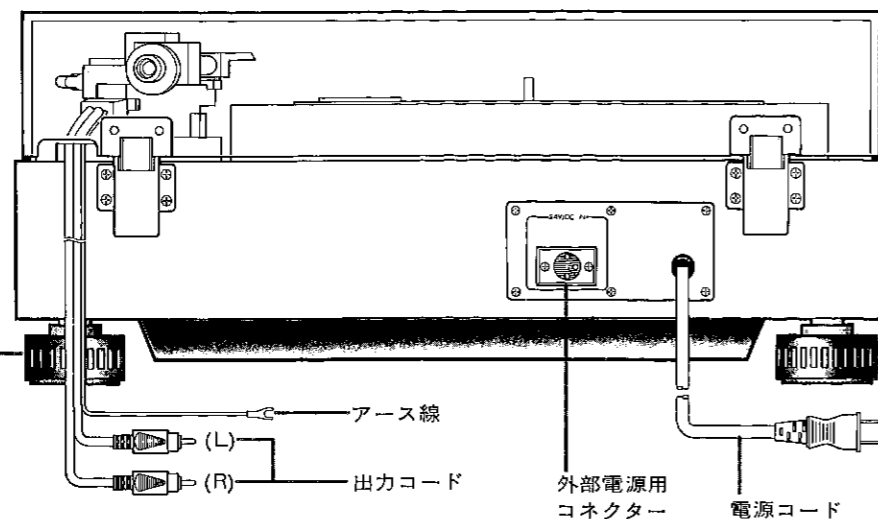
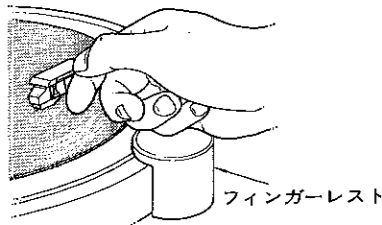
⑤ インサイドフォースキャンセラー

シンプルで確実な糸吊り式のインサイドフォースキャンセラーです。ロッド1目盛0.25gステップです。

⑥ アーム高さ固定つまみ

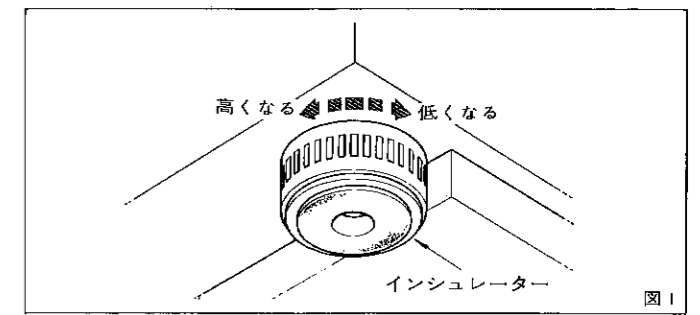
トーンアーム高さ固定つまみです。このつまみをゆるめると、トーンアームは上下に16mmの範囲で動き、ほとんどのカートリッジに対応することができます。

⑦ エレベーションアーム高さ調整ネジ



■ 水平バランス調整

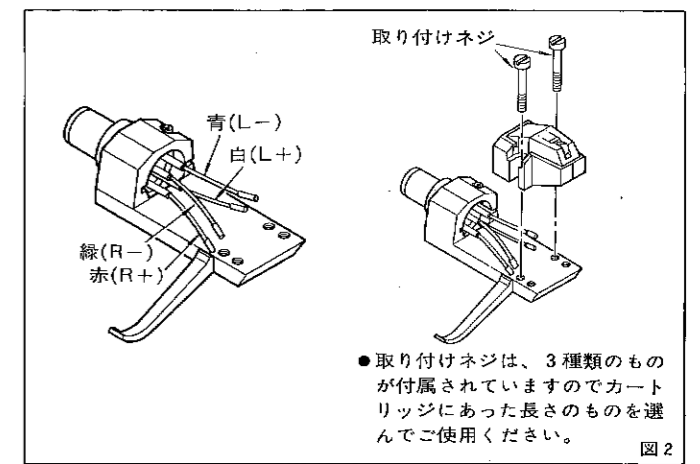
本機は28kgという重量があります。設置するときは、取り扱いに十分気を付けてください。キャビネット底面の4隅に、インシュレーターがあります。インシュレーターは、高さ調整機構があり左右にまわすと高さが変わります。ターンテーブル面が水平になるように各々のインシュレーターを調整します。なお、インシュレーターは、キャビネットを少し持ち上げてから回してください。



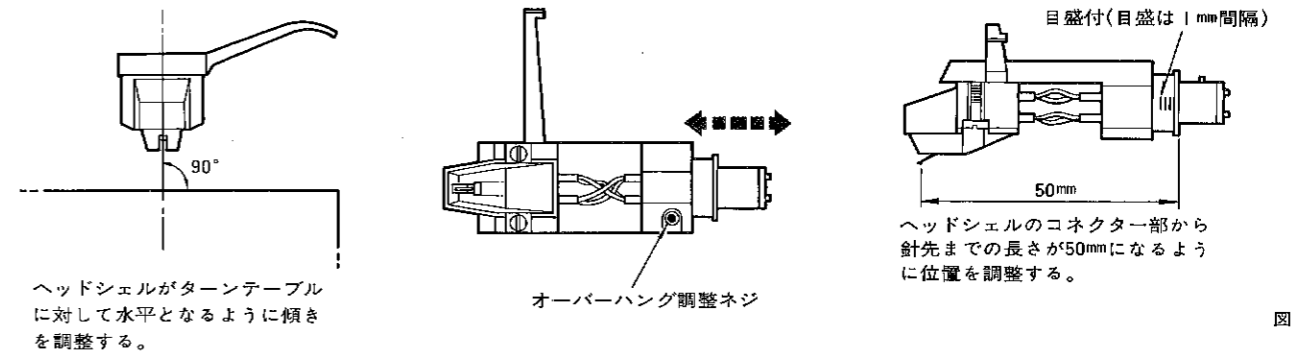
■ カートリッジの取り付け

本機はカートリッジを付属していませんので、好きなカートリッジをお買い求めのうえ、図2を参照して取り付けてください。付属のヘッドシエルには、自重3g~18gまでのカートリッジが取り付けられます。

- ① ヘッドシエルのリード線を、ピンセットでカートリッジの出力ピンに極性を間違えないよう接続してください。※カートリッジの極性は、カートリッジの取扱説明書をご参照ください。
- ② カートリッジを取付ネジでヘッドシエルに固定します。
- ③ ヘッドシエルのオーバーハング調整ネジをゆるめてオーバーハングと、ヘッドシエルの垂直の傾きを調整してください。

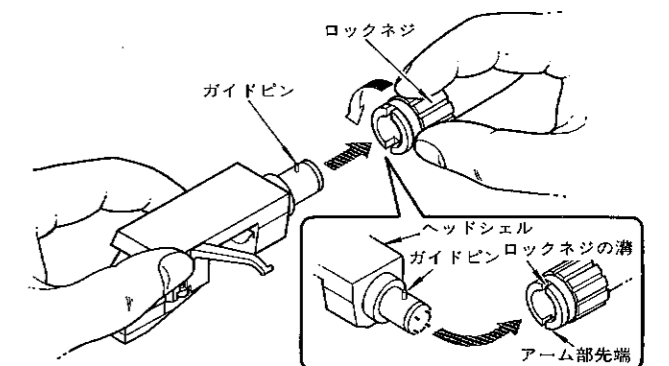


● オーバーハングとヘッドシエルの傾き調整



● ヘッドシエルの取り付け

カートリッジを取り付けたあと、図のようにヘッドシエルとトーンアーム先端部を持ち、ヘッドシエルガイドピンをロックネジの溝に合わせて差し込み、ロックネジを回して固定します。

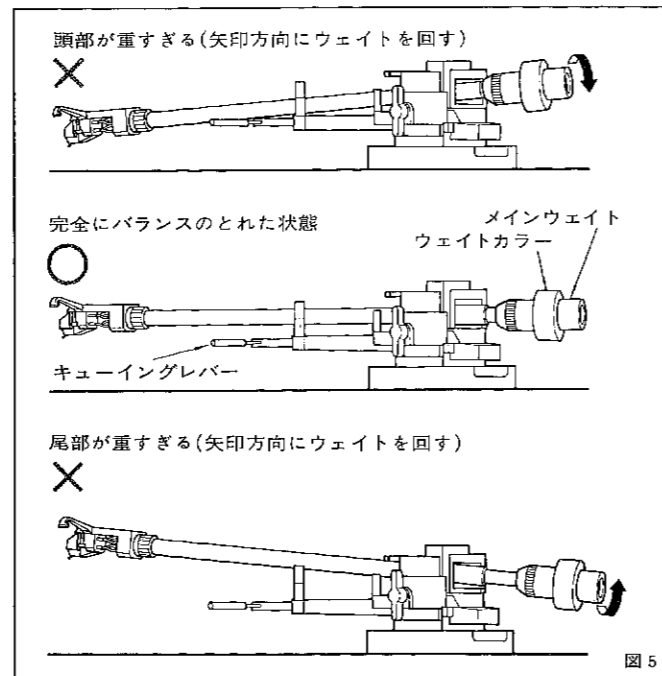


トーンアームの調整

■針圧調整

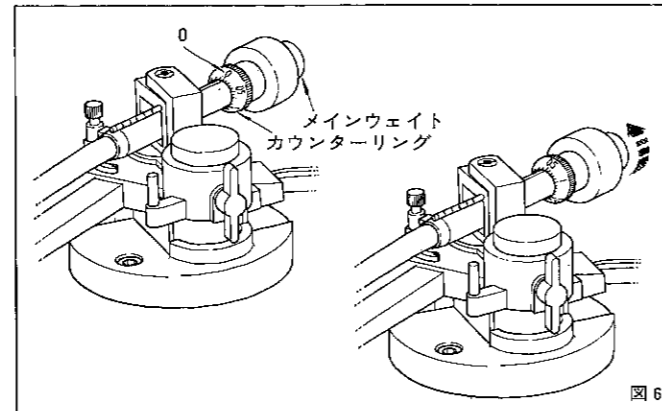
①水平バランス調整

- ①カートリッジの針カバーの付いているものは、針カバーをはずしておきます。
- ②トーンアームをアームレストからはずし、キューイングレバーを下げます。
- ③メインウェイトをまわして、トーンアームが水平となるように調整します。
※メインウェイトは、なるべく後方位置でつり合うようにウェイトカラーを調整します。



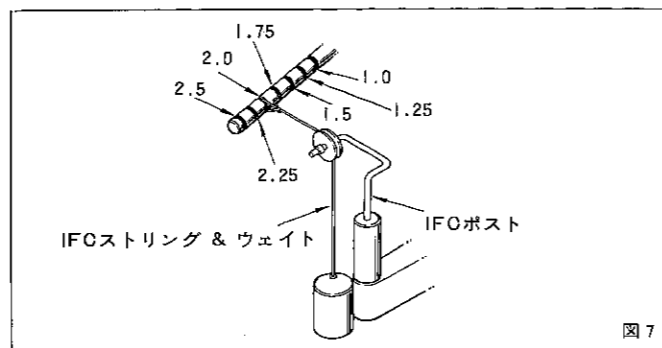
②針圧調整

- ①水平バランスがとれたときのメインウェイトの位置を動かさないようにして、メインウェイト前部のカウンターリングだけを回し、カウンターリングの数字"0"をトーンアーム上部のラインに合わせます。
- ②メインウェイトを図6の矢印方向(時計方向)に回し、カートリッジ指定の針圧値に合わせます。
※メインウェイト本体を回しますとカウンターリングも一緒に動きます。



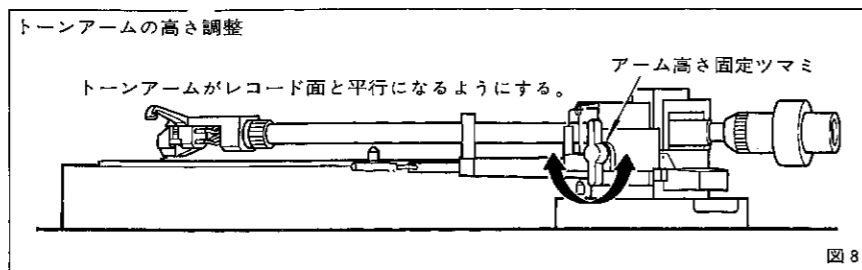
■インサイドフォースキャンセラー(IFC)の調整

- ①IFCポストを取り付けます。
- ②IFCストリングを図7で示す針圧と同じ数値の位置へ掛け、IFCポストのローラーで吊ります。



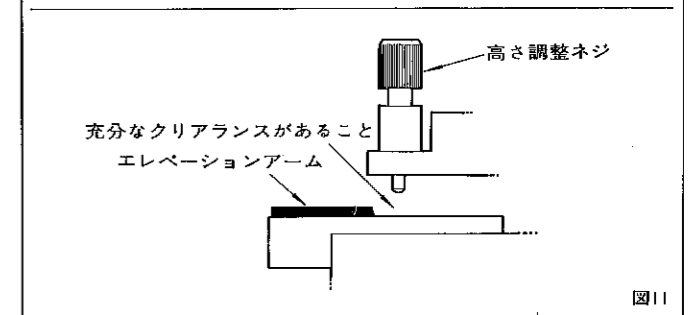
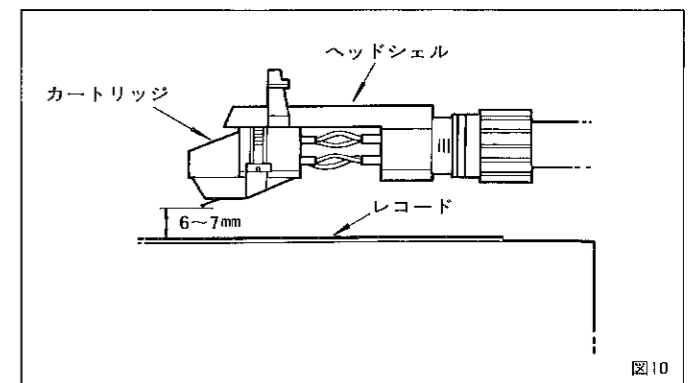
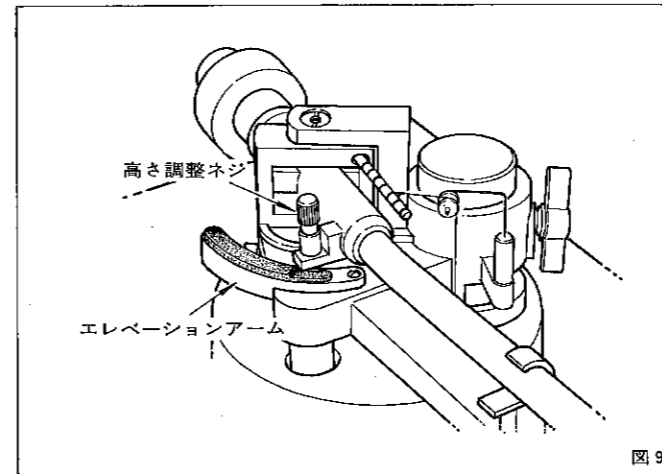
■トーンアームの高さ調整

- ①ターンテーブルにレコード盤を載せ、キューイングレバーを下げ、針先をレコード盤に降ろします。
- ②アーム高さ固定つまみをゆるめトーンアームを静かに上下して、レコード盤と平行になるように調整します。
- ③トーンアームが平行になった位置でアーム高さ固定つまみを締め、固定します。



■アームリフターの高さ調整

キューイングレバーを上げた状態で、針先がレコード盤から6~7mm離れる程度に調整します。また、キューイングレバーを下げて、レコード演奏状態としたとき、エレベーションアームと高さ調整ネジとの間が充分クリアランスを保っていることを確認してください。

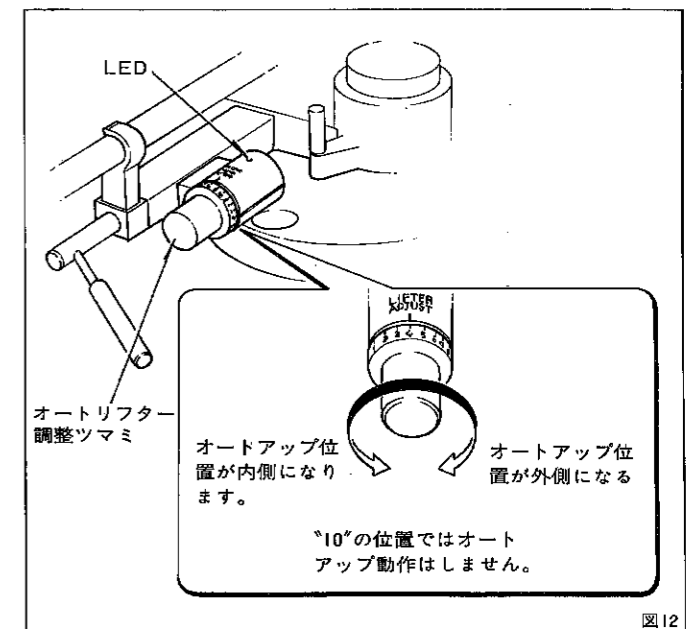


■オートリフターの調整(GT-2000L)

GT-2000Lのトーンアームには、非接触光学式オートリフター機構が装備されています。またレコード演奏終了後、トーンアームのオートアップ位置の設定ができ、図12のようにオートリフター調整つまみを回して調整してください。(GT-2000のトーンアームにも別売のYAL-1(オートアームリフター)を装着すれば、GT-2000Lと同じようにオートリフター機能が追加できます。)

調整手順

- 1.アームリフターを上げた状態にして、オートリフター調整つまみを"10"の位置にセットしておいてください。
 - 2.スタート/ストップボタンを押します。
 - 3.トーンアームを、レコードのオートアップさせたい位置までもっていきます。
 - 4.アジャストユニットのLED(赤)が点灯するまで、オートリフター調整つまみを、右方向(○)にまわしてください。
 - 5.レコードを演奏してオートアップ位置を確認してください。
- ※オートアップ動作をしない場合は各ユニットの取り付け、コネクタの接続を確認してください。



アンプへの接続

■アンプへの接続

1. トーンアーム後面から出ている出力コードを、アンプのPHONO端子に接続します。このとき、L・Rを間違えないようにしてください。白がL(左)チャンネルで、赤がR(右)チャンネルです。
2. 出力コードから出ている黒のアース線を、アンプのGND端子へ接続してください。
3. 電源プラグをACコンセントか、アンプの予備電源コンセントに接続してください。
消費電力、GT-2000Lは12Wです。
GT-2000は7Wです。

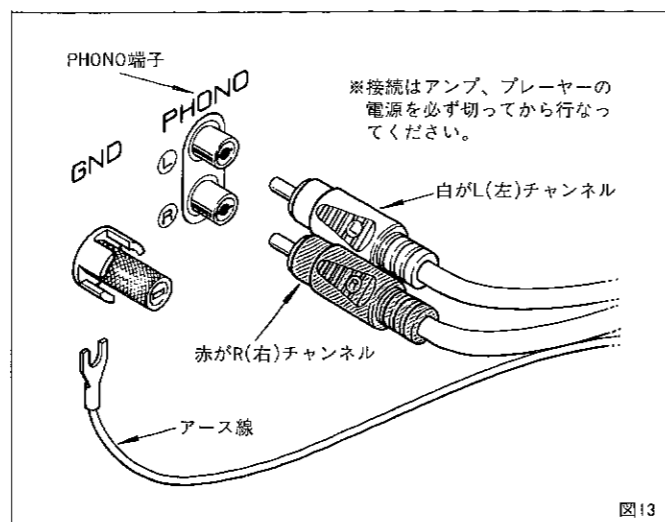


図13

レコード演奏のしかた

■レコード演奏の手順

本機の組み立てと調整、アンプへの接続が完了しましたら次の順序でレコード演奏をお楽しみください。

- ① プレーヤー、アンプ、スピーカーの接続コードをチェックしてください。
 - 電源コード→ACコンセントかアンプの予備電源コンセント
 - 出力コード→アンプのPHONO端子 (L・Rを間違えないように)
 - アース線→アンプのGND(アース)端子 それぞれ正しく接続されているかどうか確認してください。

- ② 接続したアンプを動作状態にします。
アンプの電源をONにし、FUNCTION(入力切り換え)スイッチをPHONOの位置にセットします。
アンプのボリュームは絞っておいてください。

- ③ キューイングレバーが上にあがっていることを確認してください。

- ④ 演奏するレコードを静かにターンテーブルに載せてください。
45回転EPレコード(ドーナツ盤)は、EPアダプターをターンテーブルのセンターシャフトに差し込んでください。(EPアダプターは、付属していません。)

- ⑤ スタート/ストップスイッチを押します。

- ⑥ ターンテーブルに載せたレコードの回転数に合わせて、回転数切り換えスイッチをセットします。

- ⑦ カートリッジの針先をレコードの演奏したい場所の上に持ってゆき、キューイングレバーを静かに下におろします。
※針がレコードに降りるまではアンプのボリュームを絞っておいてください。

- ⑧ レコード演奏
アンプの音量・音質をお好み調節してお聴きください。

- ⑨ GT-2000Lの場合
レコード演奏が終わると、エレベーションアームが自動的に上がります。
トーンアームをアームレストに戻してください。
GT-2000の場合
レコード演奏が終わったらキューイングレバーを静かに上にあげてください。

- ⑩ スタート/ストップスイッチを押すと、ターンテーブルの回転が停止します。

参考仕様

■フォノモーター部

駆動方式	ダイレクトドライブ
モーター	DCコアレスホールモーター
サーボ形式	クォーツPLL、正負両方向サーボ
回転数	33-1/3r.p.m 45r.p.m
ピッチインジケータ	LEDロックインジケータ
起動トルク	2 kg・cm
ターンテーブル	
直径	374mm
材質	鍛造アルミ
重量	5.5kg(ゴムシート含まない)
慣性モーメント	1.2t・cm ² (ゴムシート含まない)
SN比(DINB, IEC98A WTD)	85dB以上
ワウ・フラッター(FGダイレクト)	0.005%WRMS
回転数精度	±20ppm以下

■トーンアーム部

形式	S字形スタテックバランス、ジンバルサーボトーンアーム
実効長	262mm
オーバーハング寸法	14mm
オフセット角	20°
水平トラッキングエラー角	(-1°~+2°)
針圧印加方式	スタティックバランス型 1回転3.0g 0.1gステップ
適用カートリッジ重量範囲	3.0~18g

アーム初動感度	垂直7mg、水平7mg
アームリフター	オイルダンブ式キューイング
インサイドフォースキャンセラー	糸吊りウエイト式
アーム高さ調整巾	16mm
ヘッドシェル	アルミ切削 重量13g
PUケーブル	I.T.K#3000(容量105pF) バランスインピーダンス型ルーズヘリカルドシールド 金メッキピンプラグ
信号線往復抵抗	350mΩ

■キャビネット部

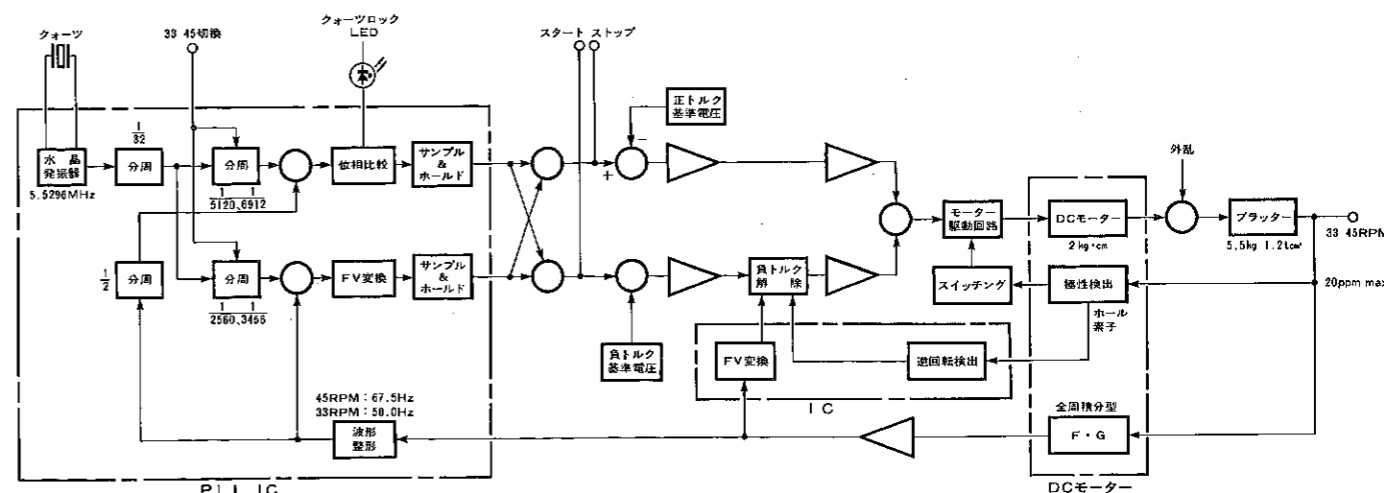
外装材質	4層積層、高密度パーティクルボード製
底板	高密度パーティクルボード製
化粧(GT-2000L)	ウォルナット板目化粧
(GT-2000)	樺化粧、黒色塗装
ダストカバー	アクリル、重量2kg
インシュレーター	スプリング、ゴム複合型

■総合

定格電源電圧・周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力(GT-2000L)	12W
(GT-2000)	7W
外形寸法(W×H×D)	545×230×417mm
総重量	28kg

※仕様および外観は、予告なく変更されることがございます。

ブロックダイアグラム (モーター部)



故障と思われるときには

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
スタート/ストップボタンを押してもターンテーブルが回転しない	電源コードがACコンセントかアンプの予備電源コンセントにしっかり差し込まれていない	ACコンセントかアンプの予備電源コンセントにしっかり差し込み直してください
カートリッジを交換したときなど(ゼロ)バランスをとれない	カートリッジが重い、または軽すぎる	カートリッジ重量適用範囲3~18gです。範囲内であればウェイトツマミを回して再調整してください。 ウェイトカラーを前後にずらして再調整してください
針先をレコード面に降ろしても音が出ない	ヘッドシェルコネクターの接触不良	ヘッドシェルをトーンアームに正確に取り付けてください。 コネクターピンをみがいでください
カートリッジの腹がレコード面に接触する	針圧が重すぎる トーンアームの高さが不相当	適正針圧に再調整してください トーンアームの高さを再調整してください
再生音が歪んでいて聴きにくい、または“チリ”、“チリ”、“パチ、パチ”という音がし、特に高音域がひずんで汚ない	プレーヤーが水平でなく傾いている 針先にホコリなどが付着している 針先が摩耗している レコード自体が痛んでいたり、ホコリやゴミがついている 針圧が軽すぎるか重すぎる	インシュレーターの高さを調整して水平に設置してください 針先を針先掃除用刷毛などできれいにしてください 針を交換してください レコードを新しいものと交換してください レコードのホコリやゴミを拭きとってください 使用カートリッジの適正針圧に調整し直してください
再生音がふるえたり、ハウリング(ポワーンという音)を起こして聴きにくい	プレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定で振動が伝わり共振している	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてください
レコード演奏のとき“ブーン”というハム音が入る	ヘッドシェルコネクターの接触不良 プレーヤーのアース線が接続不良	ヘッドシェルをトーンアームに正確に取り付けてください アース線をアンプのアース端子に接続してください
再生音が歪む。特に寒いとき	市販のカートリッジのほとんどはダンパー部にゴムを使っているため、このゴムが温度で硬化するため	針圧を重めにしてください。カートリッジを暖めるか、プレーヤーを使用している部屋を暖めてください。

オプション

GT-2000L、GT-2000には、プレーヤーとしての基本性能を更に高めるオプションが用意されています。

YSA-1(ストレートアーム)

S字アームとは異なったシャープな音質が得られます。

YSA-2(ピュアストレートアーム)

黄銅、アルミ素材で非磁性性を追求。信号線往復抵抗値は世界最小0.15Ω。中間接点なしで取付可能です。

YAL-1(エレクトリックオートリフター)

GT-2000を購入された方は、GT-2000をGT-2000Lのレベルにシステムアップできます。

YOP-1(外部パワーサプライ)

GT-2000L、GT-2000の専用外部定電圧電源ユニットです。大電流容量により回転系の安定性をより一層高めることができ、またフォノモーターの両方向サーボを電子ブレーキとして利用し、速やかに停止することもできます。

サービスのご依頼について

(昭和62年10月1日 現在)

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市東区中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 首都圏営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 北関東営業所 TEL(03)255-1825 東京営業所 TEL(03)255-2302
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 名古屋営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 大阪営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内 中四国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様相談センター TEL(0534)60-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内営業部 TEL.(0534)60-3421
管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。